

基本情報



【年 齢】
60歳
【出身地】
東京都調布市
【転出元】
東京都府中市
【前 職】
コンビニ大手に34年間
流通ITコンサルタント
【活動時期】
R6.4～現職

協力隊に応募したきっかけ

R6年3月で60歳になり、雇用延長のお誘いは有ったのですが、もう満員電車には乗りたくない、この機会にスロースライフに移りました。もともとこのタイミングは狙ってまして、R5年8月に某島で島暮らし体験のお世話になり、そこで協力隊の活動を知りました。戻って調べると八丈町で募集していたのでともかく応募したところ、採用のご縁を頂けた次第です。結果オーライの着任と移住になっています。

今後の抱負・任期後の目標

東京からたった55分の南国では有るんですが、全国的な知名度が低いので、とにかく一度観光でも島へ来て頂く必要があります。
町の目的である「定住者増」に向けて「知って貰う」と言う観点で特に観光と両輪で、島へのインビテーションを進めて行きます。
任期中に何かしらのレガシーを遺したいと日々考え続けていますが、まずはどこかのタイミングから「人口減を横這いにする」ですね。

活動内容

●移住希望者の勧誘

移住・定住ガイドブックを刷新して、9月都内で行われた移住定住フェアから活動を本格化しました。ガイドブック作成に当たっては町内の複数の移住者に話を聴いて島のアドバンテージを「子育て∞」と定め、初めてピンポイントのターゲット層に訴求してみました。島暮らしの大変さも載せています。



●住まい不足の解消に向けて

毎年100人近い人口減は少子高齢と空き家増を加速させます。すべての賃貸空き物件が町の不動産屋さんの媒介に乗るわけでも無いようで、本土から八丈の住まい探しは苦労します。少しでも役に立てばと自分のブログでアドバイスも始めています。



●島の魅力情報を島外へ発信

島内のSNSはXがポピュラーですがなかなか島外の、八丈島に興味のある方へ届きにくくなっています。そこで町の産業・観光振興をビジュアルに取り上げる活動を始めました。9月に広報担当の隊員が増えたので八盛隊（はちもりたい）チームで協力して行きます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））ha130@town.hachijo.tokyo.jp
（電話番号（職場））04996-2-1120

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（八丈町地域おこし隊（八盛隊）Instagram）

